



社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2016年12月1日発行

第50号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0824 堺市堺区老松町2丁58-1
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL http://www.mimihara.or.jp (同仁会HP)

沖縄の現実を見る

映画「標的の村」上映会のとりにくみ

同仁会グループ平和フェスタ実行委員会 主催



連行される住民



ゲート前で抗議する人々



上映会の後、グループに分かれて話し合いました

2012年9月29日「オスプレイ」強行配備前夜、台風接近による暴風の中、人々はアメリカ軍普天間基地ゲート前に身を投げ出し、車を並べ、22時間にわたってこれを完全封鎖したのでした。真っ先に座り込んだのは、戦争の苦しみを知るお年寄りたち。強制排除に乗り出した警察との激しい衝突。

置かれている状況に対し、私たちに何ができるのかを、考えさせられる企画となりました。同仁会グループでは、沖縄を訪れての平和学習とともに、辺野古の座り込みや沖縄県知事選挙・名護市長選挙の支援などに、多くの職員・友の会会員が数年前から継続して参加してきました。引き続き沖縄のたたかいに連帯していくとともに、今回の大阪府警機動隊員の「土人」などの差別的発言を許さず、これを擁護する松井知事の発言撤回と謝罪・辞任を求める取り組みを進めていきます。

全国ニュースから 黙殺されたドキュメント

日本国内の、アメリカ軍基地および専用施設の74%が集中する沖縄県。北部にある東村高江は、人口約150人。やんばるの豊かな森に囲まれた、平和な集落です。しかし、ここに米軍ヘリパッド建設が強行されています。全国から集められた500人以上の機動隊が、抵抗する人々を力づくで排除。人々はなぜ命がけで、このヘリパッド建設に反対しているのでしょうか？

12月も上映会開催

沖縄で今、何が起きているのか？

いくさば とうどう
「戦場ぬ止み」上映会

日時 12月9日(金) 17:30開場
18:00開始

会場 耳原総合病院2F・地域交流ゾーン



沖縄県民の民意尊重
基地の押し付け撤回を

12.10

おおさか総がかり集会

12月10日(土) 14時

扇町公園

JR環状線「天満駅」西へ徒歩3分、
地下鉄堺筋線「扇町駅」2号出口すぐ

集会後、パレード

中崎町コース 大阪市役所コース

沖縄に基地はいらない



こんにちは！ 同仁会グループ 事業所だより

・和久鍼灸師より
「摩訶不思議な世界 東洋医学」
東洋医学・鍼灸を知らない人が殆どだと思いますが、読んでみてください。

・和久鍼灸師の紹介
耳原鍼灸院に就職されて31年目。鍼灸師を志したのは、スポーツで負傷した膝のケガが針治療で治ったことがきっかけ。31年のお付き合いの患者さんもおられます。

・耳原鍼灸院の歴史
1980年耳原旭ヶ丘会館内に鍼灸所開設、2004年7月に現在の場所へ移転。現在、和久英人鍼灸師が診療しており、訪問治療も実施しています。(詳しくは外来診療表を参照)

・鍼灸って？
身体に鍼や灸を用いて刺激を与えることで、多様な疾病への治療的な介入や健康増進をめざす医療技術です。
・耳原鍼灸院の歴史
1980年耳原旭ヶ丘会館内に鍼灸所開設、2004年7月に現在の場所へ移転。現在、和久英人鍼灸師が診療しており、訪問治療も実施しています。(詳しくは外来診療表を参照)

中国の名医・扁鵲の言に、「病の応、体表に現る」とありますが、一本の鍼が生体によくよびに働きかけます。脈や舌の色や形が変化します。体表のしこりが消えたり圧痛がなくなったりします。一度体験してみたいと切に願っています。

胃下垂の患者の足三里というツボに鍼をしたら、即座に胃が上っていく様子が何年前にNHKの東洋医学特集の中でありました。我々からすれば何てことない映像と観ていましたが、数学者だった北辰会の堀内氏は「こんなことが平然と出来る鍼灸は本物だ」と鍼灸の世界に来たと言います。

神明の府から摩訶不思議な世界が入っている器だと書かれています。
胃下垂の患者の足三里というツボに鍼をしたら、即座に胃が上っていく様子が何年前にNHKの東洋医学特集の中でありました。我々からすれば何てことない映像と観ていましたが、数学者だった北辰会の堀内氏は「こんなことが平然と出来る鍼灸は本物だ」と鍼灸の世界に来たと言います。

耳原鍼灸院



和久英人 鍼灸師

〒590-0809 堺市堺区旭ヶ丘北町1丁目5-24
TEL: 072-241-7010

※初めての方は事前にご予約ください

1本、1本、小さな鍼に思いを込めて

『黄帝内経素問・陰陽応象大論』 陰陽者、天地之道也、万物之綱紀、變化之父母、生殺之本始、神明之府也、治病必求于本